

夢と絆を求めて

～翻弄された運命を辿った24年～

は す い け

か お る

蓮池 薫さん 講演会

(新潟産業大学経済学部特任教授／翻訳家)

実際に拉致にあった時の状況、24年間、北朝鮮での生活を余儀なくされ、日本に戻れないという事実と向き合い、朝鮮人として生き抜いてきた貴重な体験、人生の夢・家族の絆・命以外のすべてを奪われたという現実から、拉致問題の経緯、現在の状況などについて、ご講演いただきます。

日 時 令和9年1月26日(火)

午後 1 時 30 分～午後 4 時(午後1時から受付)

会 場 越谷コミュニティセンター・小ホール

入場無料

※ 当日、直接会場にお越しください。

※ 定員(490名)を超えた場合は、入場できないことがあります。

◆手話通訳・要約筆記あり

◆講演会后、引きこもりをテーマとした
ドラマ「見上げれば」を上映します。

【講師プロフィール】

1957年新潟県生まれ。中央大学法学部3年在学中に拉致され、24年間、北朝鮮での生活を余儀なくされる。帰国後、市役所勤務を経て、新潟産業大学で嘱託職員、兼非常勤講師として勤務するかたわら、中央大学に復学。2005年に初訳書『孤将』を刊行。現在、新潟産業大学経済学部特任教授として、韓国語、韓国文化などを教える。

訳書に『私たちの幸せな時間』『ハル 哲学する犬』など多数。著書『半島へ、ふたたび』で新潮文芸振興会主催の新潮ドキュメント賞を受賞。2025年5月には、岩波新書『日本人拉致』を刊行。

